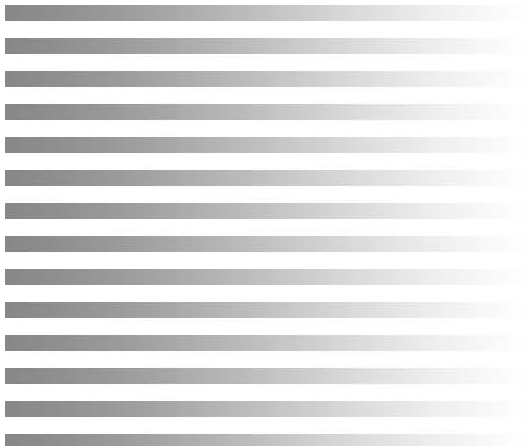


Systemwalker Centric Manager V13.2.0



Systemwalker Operation Manager

プラグイン説明書

まえがき

本書の目的

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに追加インストールする、Systemwalker Operation Manager プラグインについて説明しています。
なお、本書は、Solaris/Linux/Windows版を対象としています。

本書の読者

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに、Systemwalker Operation Manager プラグインを追加インストールして利用する方を対象としています。

本書をお読みになる前に、“Systemwalker Centric Manager 解説書”、及び“Systemwalker Operation Manager 解説書”をお読みになり、統合コンソールとジョブスケジューラ機能の概要を理解しておくことが必要です。

略語表記について

Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise EditionおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003, Datacenter Editionを“Windows Server™ 2003”と略しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、Microsoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating systemを“Windows® 2000”と略しています。

Microsoft® Windows® XP ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® XP Home Editionを“Windows® XP”と略しています。

Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、Microsoft® Windows Vista™ Business、Microsoft® Windows Vista™ EnterpriseおよびMicrosoft® Windows Vista™ Ultimateを“Windows Vista™”と略しています。

Solaris™ オペレーティングシステムを“Solaris”と略しています。
Solaris、Linux上で動作するSystemwalker Centric Managerを、“UNIX版Systemwalker Centric Manager”または“UNIX版”と略しています。

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。

平成19年 5月

改版履歴
平成19年 5月 初 版

商標について

APC、PowerChutelは、AMERICAN POWER CONVERSION社の登録商標です。

ARCServeは、米国Computer Associates International, Inc.の登録商標です。

Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

HP-UXは、米国Hewlett-Packard社の登録商標です。

IBM、AIX、AIX 5Lは、IBM Corporationの商標です。

Intel、Itaniumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

LaLaVoice は、株式会社東芝の商標です。

LANDeskは、米国およびその他の国におけるLANDesk Group, Ltdとその子会社の商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

MC/ServiceGuardは、Hewlett-Packard Companyの製品であり、著作権で保護されています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Visual Basic、Visual C++およびMicrosoft Cluster Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NEC、SmartVoiceは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

Netscape、Netscape の N および操舵輪のロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicatorは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Oracleは、米国ORACLE Corporationの登録商標です。

Palm、Palm OS、HotSyncは、PalmSource Inc. の商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Sun/Solaris/Java に関連するすべての商標およびロゴマークは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、SunClusterは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusは、SymantecCorporationの米国における登録商標です。

Tcl/Tkは、カリフォルニア大学、サン・マイクロシステムズ社、Scriptics 社他が作成したフリーソフトです。

TRENDMICRO、Trend Micro Control Manager、Trend Virus Control System、TVCS、InterScan、ウイルスバスター、INTERSCAN VIRUSWALL、eManagerは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Turbolinux及びターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。

UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

UXP、Systemwalker、Interstage、Symfowareは、富士通株式会社の商標です。

VERITAS、VERITAS SOFTWARE、VERITASロゴ、VERITAS Cluster Serverおよびその他のVERITAS製品は、米国および各国のVERITAS Software Corporationの商標または登録商標です。

VirusScanおよびNetShieldは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

Xiino、Palmscape、イリンクスは、株式会社イリンクスの商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1995-2007

All Rights Reserved, Copyright © 株式会社PFU 1995-2007

Portions Copyright © Contributors to ISODE Project

Portions Copyright © 1983-1994 Novell, Inc., All Rights Reserved.

JavaChart™ Copyright © 1996-1997 Visual Engineering, Inc. All Rights Reserved

HashJava GNU Library General Public License

Portions © 1994-1996 Attachmate Corporation. All Rights Reserved.

本書の構成

本書は、1章～3章および付録から構成されています。本書は、1章から3章を順にお読みください。付録は必要に応じてお読みください。

第1章 [概要](#)

Systemwalker Operation Managerプラグインの概要について説明します。

第2章 [導入手順](#)

Systemwalker Operation Managerプラグインの導入手順について説明します。

第3章 [使用方法](#)

Systemwalker Operation Managerプラグインの使用方法について説明します。

付録A [メッセージリファレンス](#)

Systemwalker Operation Managerプラグインが出力するメッセージについて説明します。

本書の読み方

マニュアルの記号について

マニュアルでは以下の記号を使用しています。



注意

特に注意が必要な事項を説明しています。



ポイント

知っておくと便利な情報を説明しています。

目次

第1章 概要	1
1.1 プラグインの役割	2
1.2 プラグインの動作	3
第2章 導入手順	4
2.1 インストール	5
第3章 使用方法	6
3.1 統合コンソールを起動する	7
3.2 ジョブスケジューラ画面を起動する	8
付録A メッセージリファレンス / 保守情報	10
A.1 [通知履歴]に表示されるメッセージ	10
A.2 保守情報の収集方法について	14

第1章 概要

本章では、Systemwalker Operation Managerプラグインの概要を説明します。

1.1 プラグインの役割

Systemwalker Operation Managerプラグインは、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールから、Systemwalker Operation Managerのジョブスケジューラ画面を起動する為のプラグインです。

本プラグインを統合コンソールに追加インストールすることで、統合コンソールからジョブスケジューラ画面を起動する際に、接続先のサーバの入力や認証情報の入力を行うことなく、シームレスに起動することが出来ます。

1.2 プラグインの動作

Systemwalker Operation Managerプラグインをインストールすると、統合コンソールのランチャーに、「Systemwalker Operation Manager」 - 「ジョブスケジューラ」が追加され、統合コンソールからジョブスケジューラ画面が起動できるようになります。

統合コンソールからジョブスケジューラ画面を起動する際には、統合コンソールが保持しているサーバの構成情報やSystemwalker Centric Managerの認証画面で入力されたユーザ名、パスワード等の認証情報を、ジョブスケジューラ画面に受け渡して起動します。

統合コンソールから起動されたジョブスケジューラ画面は、起動時に認証画面を表示せずに、Systemwalker Operation Managerプラグインから受け取った構成情報や認証情報を利用して、Systemwalker Operation Managerのサーバに接続します。

第2章 導入手順

本章では、Systemwalker Operation Managerプラグインの導入手順について説明します。

2.1 インストール

以下の手順でSystemwalker Operation Managerプラグインをインストールします。

- 1 . Systemwalker技術情報ホームページのSystemwalker Centric Manager 統合コンソールプラグイン一覧から、Systemwalker Operation Managerプラグインをダウンロードします。
- 2 . Systemwalker Operation Managerプラグインに添付されている、適用手順書（readme.txt）に従って適用します。

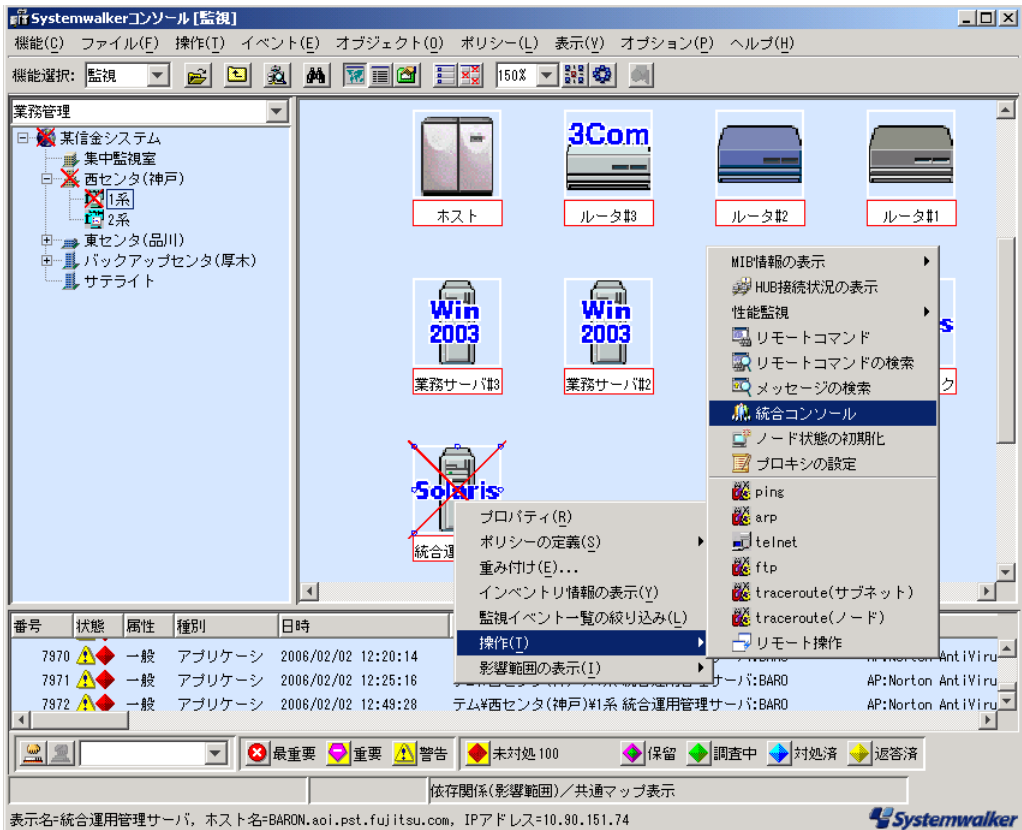
第3章 使用方法

本章では、統合コンソールから、ジョブスケジューラを起動する手順について説明します。

3.1 統合コンソールを起動する

以下の手順で統合コンソールを起動します。

1. Systemwalker Centric Managerの「Systemwalker コンソール」を起動します。
2. 監視マップで、ジョブスケジューラ画面を接続したいサーバを選択します。
3. 右クリックで表示されるポップアップメニューから、「操作」－「統合コンソール」、またはメニューから「操作」－「指定オブジェクト」－「統合コンソール」を実行し、統合コンソールを起動します。



3.2 ジョブスケジューラ画面を起動する

Systemwalker Operation Managerプラグインでは、Systemwalker Centric Managerの、以下の二つの情報を引き継ぎ、ジョブスケジューラ画面を起動します。

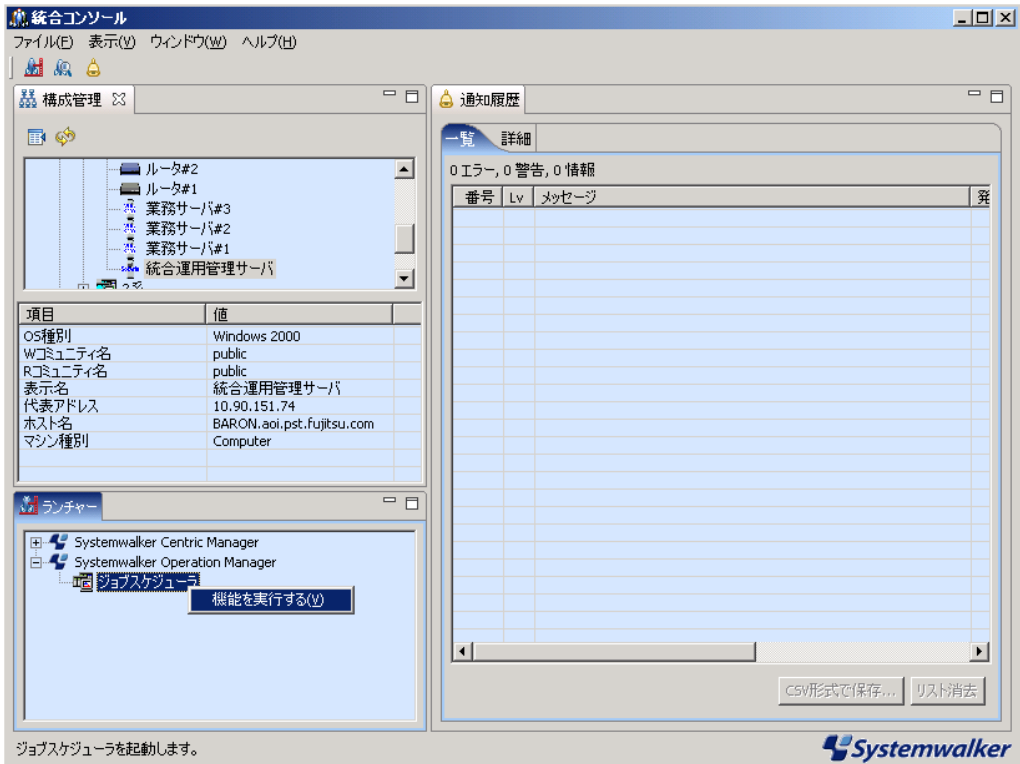
Systemwalker Centric Manager	Systemwalker Operation Manager
構成管理で選択されている業務サーバのホスト名	ジョブスケジューラの接続先ホスト名
Systemwalker Centric Managerのログインユーザ名	ジョブスケジューラの接続ユーザ名

そのため、これらの二つの情報を、Systemwalker Centric ManagerとSystemwalker Operation Managerで合わせておく必要があります。

以下の手順で、ジョブスケジューラ画面を起動します。

1. 統合コンソールの構成管理画面で、ジョブスケジューラ画面を接続したいサーバが選択されているか確認します。接続したいサーバが選択されていない場合には、構成管理画面のツリーで、接続先のサーバを選択します。
2. 統合コンソールのランチャーから、「Systemwalker Operation Manager」－「ジョブスケジューラ」を選択し、右クリックで表示されるポップアップメニューから「機能を実行する」を実行し、ジョブスケジューラ画面を起動します。
起動された各画面の操作については、“Systemwalker Operation Manager 使用手引書”を参照してください。

3.2 ジョブスケジューラ画面を起動する



ポイント

ジョブスケジューラを起動する際に、Systemwalkerコンソールを起動する際に入力したユーザ名、及びパスワードで自動的に認証処理が行なわれます。

接続先のサーバに、該当するユーザが存在しない場合や、パスワードが異なる場合には、ジョブスケジューラ画面の認証画面が表示されます。

また、Windows版の運用管理サーバでSystemwalkerコンソールを起動した場合や、Systemwalkerコンソールの認証画面で、ユーザ名やパスワードを入力しなかった場合 (OSのログインユーザで起動した場合) にも、ジョブスケジューラ画面の認証画面が表示されます。

付録A メッセージリファレンス／保守情報

A.1 【通知履歴】に表示されるメッセージ

◆ メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)

プラグインの初期設定に失敗しました。

【メッセージの意味】

Systemwalker Operation Managerプラグインの初期設定処理中に予期しないエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

なし。

【システムの処理】

Systemwalker Operation Managerプラグインは初期設定処理を中断します。

【対処方法】

【確認ポイント】

1. Systemwalker Centric Manager (統合コンソール) が、「Systemwalker Operation Manager プラグイン 適用手順書」の「2. 適用条件」の「適用製品」に記載されているものか確認してください。

【対処】

1 の確認で、Systemwalker Operation Managerプラグインを「適用製品」に示した以外の製品に適用した場合は正常な動作を保障できませんので、Systemwalker Operation Managerプラグインを削除してください。

1 の確認で、統合コンソールが「適用製品」に示すもの場合は、Systemwalker Operation Managerプラグインを削除し再度適用した後に再試行してください。

これらの対処で解決しない場合は、富士通技術員に連絡してください。

【原因】

- － Systemwalker Operation Managerプラグインを未対応のバージョンの統合コンソールに適用した。
- － Systemwalker Operation Managerプラグインを構成するファイルを不当に変更した。

- 統合コンソール内部で予期しないエラーが発生した。

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

Systemwalker Operation Managerクライアントが見つかりません。

【メッセージの意味】

ジョブスケジューラ画面を表示する際に起動される、Systemwalker Operation Managerクライアントの実行ファイルが見つかりません。

【パラメタの意味】

なし。

【システムの処理】

Systemwalker Operation Managerプラグインは、ジョブスケジューラ画面の起動処理を中断します。

【対処方法】

【確認ポイント】

1. Systemwalker Operation Managerクライアントがインストールしてありますか？
2. Systemwalker Operation Managerクライアントを単体で起動し、正常に使用することができますか？

【対処】

1の確認の結果、Systemwalker Operation Managerクライアントをインストールしていなかった場合は、インストールしてから試行してください。

2の確認の結果、Systemwalker Operation Managerクライアントが起動できない、あるいは正常に動作しない場合は、一旦Systemwalker Operation Managerクライアントをアンインストールした後、再度インストールしてから試行してください。

これらの対処で解決しない場合は、富士通技術員に連絡してください。

【原因】

- Systemwalker Operation Managerクライアントをインストールしていない。
- Systemwalker Operation Managerクライアントを構成するファイルを不当に変更あるいは削除した。
- Systemwalker Operation ManagerクライアントのWindowsレジストリを不当に変更あるいは削除した。
- 統合コンソールあるいはSystemwalker Operation Managerプラグイン内

部で予期しないエラーが発生した。

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

ファイル(mpfwsec.dll)が見つかりません。

【メッセージの意味】

ユーザ情報取得処理に使用する、mpfwsec.dllが見つかりません。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Operation Managerプラグインは、ユーザ情報取得処理を中断します。

【対処方法】

【確認ポイント】

以下のファイルが存在するか確認してください。

```
Systemwalkerインストール先¥mpwalker.dmcncvconsole¥utility¥bin¥  
mpfwsec.dll
```

【対処】

同バージョンのSystemwalker Centric Managerがインストールされているマシンから、mpfwsec.dllを取得し、追加もしくは上書きしてください。インストールマシンが存在しない場合は、再インストールしてください。

上記の対処で解決しない場合は、富士通技術員に連絡してください。

【原因】

- － mpfwsec.dllファイルを不当に変更あるいは削除した。
- － Systemwalker Centric Managerインストールディレクトリの構成を不当に変更あるいは削除した。
- － Systemwalker Centric ManagerのWindowsレジストリを不当に変更あるいは削除した。
- － 統合コンソールあるいはSystemwalker Operation Managerプラグイン内部で予期しないエラーが発生した。

◆ メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)

ユーザ情報の取得に失敗しました。

【メッセージの意味】

ユーザ情報の取得処理において、内部処理エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Operation Managerプラグインは、ユーザ情報取得処理を中断します。

【対処方法】

【対処】

同バージョンのSystemwalker Centric Managerがインストールされているマシンから、mpfwsec.dllを取得し、上書きしてください。インストールマシンが存在しない場合は、再インストールしてください。

上記の対処で解決しない場合は、富士通技術員に連絡してください。

【原因】

- － mpfwsec.dllファイルを不当に変更した。
- － 統合コンソールあるいはSystemwalker Operation Managerプラグイン内部で予期しないエラーが発生した。

A.2 保守情報の収集方法について

本プラグイン、および統合コンソールの機能で発生したトラブルに対し、原因がわからない場合には、Systemwalker Centric Managerの「保守情報収集ツール」を使用して、収集した情報を技術員に送付してください。

「保守情報収集ツール」の使用方法については、Systemwalker Centric Managerの「メッセージ説明書」に記載されている、「保守情報の収集方法」を参照してください。

また、Systemwalker Operation Managerクライアントにて異常動作した場合には、異常発生時の画面イメージ、および詳細な操作手順を添え、技術員に送付してください。